

吉田文化会館だより

第131号
2020年 2 月

第33回 笠岡市人権文化祭を開催!!

テーマ「伝えたい 人権の大切さを」



人権文化祭
ホームページ

人権文化祭は、吉田文化会館や教育集会所、人権団体などで行われている学習会や講座、また、小中学校での人権学習の成果をご覧いただき、市民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりをすすめるため、毎年開催しています。

講座生や児童・生徒が、「人権の大切さを身近に感じていただきたい」との思いをこめて作品を制作しています。



前回の新吉中学校生徒による合唱

今回から、岡山県立西備支援学校と障がい者つどいの場「ばあー」が新たに出席されます。

また、地域のみなさんによる「そば」「山菜おこわ」などの「ふれあいコーナー」や障がいのある人が焼いた「おいしいパン」があります。ご参加をお待ちしています!

日時・場所

●吉田文化会館

2月14日(金) 9時～19時

2月15日(土) 9時～16時30分

●吉田小学校

2月14日(金) 13時～17時

2月15日(土) 9時～16時

内容

●保育所、幼稚園、小・中学校、文化会館の講座、各種団体による作品展示や学習成果の発表

●人権教育や啓発のための写真やパネルなどの展示

●福祉施設、各種団体による出店販売

問合せ 吉田文化会館

☎(65) 1069



フラダンス講座
発表にむけて練習中



手芸講座
出展作品作成中

吉田小学校の催しのご案内

2/14
(金)

14:00～15:30 トーク&ライブ

ちめいど(兄弟メッセージデュオ)

「いまを生きる ひとりひとりが名主役」

そのスタイル・メッセージ性から、学校や地域からの出演依頼も多い。ちめいどの歌は、目の前で歌ってもらうだけで人権の大切さが伝わってきます。



2/15
(土)

13:00～ 人権を考える集い

- ・ハワイアンフラダンス
- ・新吉中学校生徒合唱

14:00～ 人権講演会

まつむら さとひろ
松村 智広さん
(みえ人権教育・啓発研究会代表)

「へこたれへん

～人はきつとつながれる～」



中学校で校長を務める傍ら、教育委員会人権教育課長や大講義師などを歴任。現在は、ライトピアおおよまだ(隣保館)館長を務めながら、人権教育・啓発研究会代表をしている。部落問題について自身の体験に基づき話は、分かりやすく、時には、笑いやユーモアを交えて、熱く語りかけます。「差別なんかに絶対へこたれへん!」

人権 まんが 未来ちゃん

第55回 支え合う災害の備え

作画 南一平



人権まんが解説

近年、経験したことのない災害が頻繁に発生しています。内閣府は「風水害土砂災害の発生リスクが高まっている」と注意を呼びかけ、気象庁は、南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率は、「70〜80%」としています。

災害から、命を守るために、日頃からの備えが大切です。特に、高齢者や障がい者、乳幼児など配慮が必要な人たち(要配慮者)が安全に避難し、避難生活を送れる環境づくりが重要です。「人権まんが」のように、要配慮者は「自分で身の危険を感じたり、危険を知らせる情報を理解しにくい」「身の危険を感じても自分で避難できない」「避難できても避難所での生活が困難」など、さまざまな事情を抱えています。

要配慮者を災害から守るために、日頃から声かけや見守りを行いお互いのつながりを深めておくことで、災害時に安全に避難し、避難所での不安やストレスを軽減することができます。地域に暮らす皆さんが日頃から共に支え合うことで、災害に強く住みやすい地域を築いていきましょう。

12月1日「笠岡市人権週間のつどい」を開催 スマイリーキクチさんインターネットでの人権侵害を語る！

1999年、私の本名である菊池聡と同じ名前が「女子高生コンクリート殺人事件」の犯人の一人であるというインターネット上に書き込みをされたのを発端として、私は突然犯人にされ、誹謗中傷が始まりました。

当初、警察に被害の相談をしました。その当時は、ネット上の犯罪に詳しい刑事も少なく、犯人特定まで進展しませんでした。時間の経過とともに誹謗中傷は悪化していき、私のホームページは閉鎖に追い込まれ、所属の芸能事務所には、「殺人事件の犯人を出すな」などの電話が殺到するようになりました。



スマイリーキクチさん

その後、ネットに詳しい弁護士と刑事に出会えたことで、今回の事件が解決に向かいました。その刑事さんの活躍で、「殺す」「パンチ食らわす」などの書き込みをした犯人19人が、名誉毀損や脅迫の罪で一斉検挙されたのです。

しかし、事件が新聞の一面で大きく報道されたことで、私のブログに誹謗中傷の書き込みがされたり、さらに多くのマスコミから取材をされたため、仕事を自粛せざるを得なくなりました。何もするところがなく、家に閉じこもって、経済的にも精神的にも苦しい時に、多くの友達や先輩芸人の松村邦洋さんや千原せいじさんから温かい言葉や励ましがあつて、「一人じゃない、周りのみんなが気にかけてくれている」ということに気づき、勇気づけられました。

犯人は一斉検挙されましたが、現在でも殺害予告があり、それは、ネット上にた

くさん残っている過去の書き込みを信じる人がいるからです。ネットの恐ろしさは、書き込みが拡散することで、永遠に削除ができなくなることです。

また、犯人たちはネットの情報にデマであっても、それが真実と思い込み、憎しみを持ち続けていました。私はこれを「情報に対する憎しみ依存」だと思っていて、これもネットの恐ろしさだと感じています。

苦勞をしましたが、事件から得たことは、「犯人を恨んでも幸せになれないので、人生でいろいろな経験を積むことで、差をつけて幸せになる」と前向きな気持ちを持てたことです。

最後に、ネット上での脅迫や誹謗中傷の被害にあったら、188（消費者ホットライン）や#9110（警察相談専用電話）に早めに連絡して解決することをお勧めします。

吉田文化会館 秋風に誘われて

日本最古の物語は「竹取物語」と言われていますが、落語の始まりとも思われていることをご存じでしょうか。



光る竹から生まれたかぐや姫は、成長し、帝から求婚されますが、月へ帰ってしまいます。帰る時、かぐや姫は帝に不老不死の薬を渡します。帝は人々の不老長寿を願い、国で一番高

い山の頂で薬を燃やします。後にこの山を、不老不死の山、不死山、ふしさん、富士山と呼ぶようになったとさ。

このように竹取物語は「落ち」がある話で、落語の起源と考えています。

この話は11月13日に矢掛町在住の落語家「桂米裕」さんをお迎えして開催した、人権落語会の一節です。このほか、盛りだくさんの内容で、終始笑いの絶えない集いとなりました。

あながき 児童虐待防止

人権週間のつどいでは、会場の横に児童虐待に関するパネルの掲示をしました。私も最近の児童虐待の報道を聞くたびに胸が痛みます。平成30年度の児童相談所における相談件数は過去最高の15万9千件となりました。虐待による死亡事件も年間50件を越えています。1週間に一人の割合でかけがえない子どもが失われていることになります。昨年2月におこった、千葉県野田市の栗原心愛さんの虐待死亡事件を受けて、児童虐待防止法や児童福祉法の一部が改正強化され、しつけとしての体罰禁止が明文化されました。

近所で子どもがよく泣いているなど、おかしいなと思ったら、児童相談所全国共通ダイヤル189（イチハヤク）に勇気をもって連絡してください。あなたの連絡が大切な命を救います。

吉田文化会館H・M